

2023年6月29日 ATRS（国際航空輸送学会）世界大会・神戸開催記念セミナー  
～世界の航空産業における課題と展望～

宿利会長 開会挨拶

皆様、こんにちは。運輸総合研究所 会長の宿利正史です。

本日は、ご多用の中、このセミナーに会場でのご参加とオンラインによるご参加の皆様を合わせて、700名を超える多くの皆様にご参加の申し込みをいただいております。誠にありがとうございます。

次に、本日のシンポジウムの開催にあたり、来賓のご挨拶をいただきます大沼俊之国土交通省航空局次長に感謝申し上げます。

また、基調講演を行っていただきますブリティッシュ・コロンビア大学名誉教授で国際航空輸送学会（ATRS）初代会長及び世界交通学会（WCTRS）会長のTae Oum先生、そして、パネルディスカッションにご登壇いただきますメリーランド大学教授でATRSの2代目会長のMartin Dresner先生、ブリティッシュ・コロンビア大学教授でATRSの現会長Anming Zhang先生、東京大学副学長で同大学大学院経済学研究科及び公共政策大学院教授の大橋弘先生、東京工業大学環境・社会理工学院融合理工学系教授の花岡伸也先生、そして、本日のモデレータをお願いいたします一橋大学名誉教授で、今月26日まで当研究所の所長をお務めいただいた山内弘隆先生に厚く御礼申し上げます。

さて、ATRS世界大会in神戸が、COVID-19の影響で当初予定の2021年から2年延期されたものの、関係者のご尽力により、明後日、7月1日から第26回大会として神戸市において対面形式で開催される運びになりましたことに、先ず心からお祝い申し上げます。私は、2014年にフランスのボルドーで開催された第18回ATRS世界大会に初めて参加して以来、2019年のアムステルダム大会まで、6年連続して、東京大学公共政策大学院客員教授の立場でATRS世界大会に参加し、そこで多くの貴重な経験を積み、また知見を得ることができました。そのような訳で、今回の神戸開催をとりわけ嬉しく思います。

ATRS神戸大会では、COVID-19により甚大な影響を受けた航空業界の再生方策、航空分野におけるカーボンニュートラルの実現方策など、世界の航空業界が等しく直面

する喫緊の課題についても議論されることと思います。

そこで、この貴重な機会を捉え、Oum 初代会長をはじめ ATRS の3名の歴代会長をお招きし、我が国の航空分野の専門家の皆様の参加も得て、COVID-19の影響により世界の航空業界が抱える課題とこれに対する対応、航空業界の脱炭素化への対応、航空業界における事業者間連携や勢力圏の変化についての中期的展望などについて、議論していただくとともに、ご参加の皆様と共にこれらの課題について考察を深める場として、本日のセミナーを開催することといたしました。

本日のセミナーでは、先ず、Oum 先生から、「変動するグローバルな経済・政治環境における今後の交通研究の必要性：航空輸送を中心に」と題して、基調講演を行っていただきます。

次に、当研究所の藤崎主席研究員・研究統括から、当研究所における関連研究活動の結果として、共同研究調査を基にした「日本の航空分野における脱炭素化の道筋」及び運輸政策コロキウムの議論を抽出した「ASEANにおけるエアライン戦略の分析」の2つについて、報告を行います。

その後、山内先生にモデレータをお願いし、Oum 先生、Dresner 先生、Zhang 先生、大橋先生及び花岡先生にご登壇いただいて、パネルディスカッションと質疑応答を行います。

本日のセミナーが、ご参加いただいております皆様にとりまして、新たな気づきや、今後の取組への有益な示唆に富んだものとなりますことを祈念しております。

当研究所では、従来から航空分野に関する研究調査活動を最も重要な活動の1つとして位置づけ、その成果は、セミナー、シンポジウム、コロキウム、研究報告会などの形で適宜皆様にお届けしてまいりましたが、今後も、本日のセミナーの議論も踏まえて、東京の本部と米国ワシントン及びタイ王国バンコクにそれぞれ所在するワシントン国際問題研究所（JITTI）及びアセアン・インド地域事務所（AIRO）という当研究所の二つの国際研究組織とが連携して、さらに ATRS などの国際研究組織とも連携して、航空分野に関する研究調査活動をさらに充実させていく所存です。

引き続き関係各位のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

本日は、誠にありがとうございます。

(以上)